



## 都道52号線 (環境破壊) に反対する会ニュース

中原甫記 090-2940-4188  
柱 道男 080-1217-3222  
菊池伸夫 03-3427-4661  
setagaya52go@gmail.com

2022.2月号

### 52号線の「優先整備路線選定」から5年経過

## 道路予定地に次々と住宅の新增築やお店開店、保育園も増える 道路建設 No! の声広がる

昨年12月17日、52号線の地権者・沿線住民有志は、東京都知事に対し「52号線を優先整備路線選定から外し、道路計画の抜本的見直しを」要請（要請書全文など詳細はニュース2021年12月号参照）。建設局に現在の進捗状況についてヒヤリング（P3～4『議事録Q&A』参照）を行いました。

都は2016年に52号線の宮坂128号線～環八船橋区間を「優先整備路線」に選定しました。それから5年経過しましたが、東京都による事業への具体的な動きはありません。いま道路予定地には次々と住宅の新增築や商店が開店、沿線には保育園増設、学校が開校されています。地域住民は「道路より住宅・商店が混在する閑静な町づくり」を求めています。まさに都の道路「優先整備」計画は破綻しており、道路計画は見直し以外にあり得ません。事業認可区間（若林陸橋～宮坂経堂出張所まで）も用地買収が難航、昨年事業5年延長（令和7年）したものの工事着工の見通しも立っていません（会ニュース2022年1月25日号参照）。

### ●道路予定地には住宅の新築増築のラッシュ



### 道路予定地には

- 公園は園児で溢れる
- 行列の鯛焼き屋
- 地ビール開店
- 農大通り商店街分断
- 森繁通りを



### ●いま都政の喫緊の課題は、コロナ感染症及び都民の命・暮らしを守る対策です

都財政は税収の落ち込みで逼迫している上に、驚異的な感染拡大のためその対策にこの3年間に3兆円を超える財政支出があり、今後もこれに倍する負担が予想されます。

またこの間、オリンピック経費は当初の7340億円から1兆4530億円と2倍になり、今後競技施設の維持管理にも毎年数十億円かかります。さらに首都直下型地震の震災や気候変動による災害に備える防災対策、老朽化した社会インフラの維持改修・整備、少子・高齢化社会に備える社会保障対策など、膨大な経費支出が見込まれています。都政が都民のいのち・福祉・安全を守るためには、無駄な公共事業である大型道路計画の見直しは避けられません。

## 都要請行動参加者の声

### ■宮坂1丁目Y氏

私は52号線について、実際には住民側には殆ど説明もなく、情報不足であること、フェンスに囲まれた空き地が少しずつ増えていくことが、地域住民にとっていかにプレッシャーになっているのかをお伝えしました。また他の方から、保育園の園庭代わりになっている計画道路上にある既存の公園がつぶされると園児らが困るということについても、小池都知事の待機児童ゼロ目標という公約にも反するのではないかと伝えました。三角秘書課長には、切実な都民の声としてリアルに伝えて頂き、都知事にはせめて無理な道路計画を考え直すきっかけになってほしいと思っています

### ■赤堤1丁目E氏

都への要請行動に参加し、改めて「住民不在のこの道路計画は要らない!」と強く思いました。会員の方々が、異口同音に都へ訴えていたのは、●住民理解が得られていない●道路を作る必要性が無い●説明が無い、ということです。ある地権者さんは「用地買収された土地が、我が家に迫ってきている。夜眠れないこともある」と切々と語られていました。地権者さんにとって、人生の一大事です。しかし、都は優先整備路線区間に対して、選定から5年も経つのに、「具体的進捗は無い。今後検討する」と回答し、啞然としました。そこに生活している人や地域の影響また時代の推移を考慮せず、大昔の計画にただ固執し、進めるという、とんでもない実態が浮き彫りになりました。こうした政治を変えるため、皆さんと頑張ります。

### ■豪徳寺2丁目O氏

近隣の住民にとっては、あの金網（都取得の土地）に囲まれた環境が、これから5年いや10年と続くことには耐えられないのではないかと思います。（もとの姿に戻ることはない。） また、あの金網は災害時の障害（住民の避難）にならないのか、全面舗装による豪雨時の溢水、真夏の熱風等々。このような環境破壊の現状を役所はどこまで認識しているのか、それに対する対策はあるのかないのか、いつか質したいと思っています。いつも、いつもご苦労様です。経堂方面への延長絶対阻止で頑張ります。

### ■経堂3丁目N氏

建設局計画課統括課長とのヒヤリングで、私は52号線の優先整備路線選定後5年間経過の間どの様なことをなさって来たのか、また今後どの様に「検討」していくのか、を問いました。今泉氏は52号線の優先整備路線については「何もしてない」こと。今後の予定も「定かでない」ことでした（詳細はP3~4 議事録 Q & A 参照）。これは私たち52号線の会としては都合がよいが、私は実施内容が聞けると思い、色々な角度より質問して、本質的な面を浮き彫りにしたいと思っていましたが残念です。

### ■経堂1丁目H氏

私の意見として「コミュニティ」の大切さを訴えた。これからの少子高齢化、災害助け合いがますます重要になる。大型道路はこれを分断する。課長はメモを取り知事に伝えるとのこと。訴え続ける事が、こちらの存在を認識させることになる。建設局ヒヤリングでは128号線から環八までの今までの進捗状況又今後の検討を質問した。返答は現在、調査や具体的検討は一切していないとのこと。しかし安心せず緊張感を持って反対を訴え続けなければ道路計画が進められてしまう。

### ■経堂4丁目I氏

私は議員要請にも参加しました。懇談に応じた議員の方からは運動への賛同と共に激励をいただきました。福島りえこ議員（都民F）は「道路計画の見直されるとすれば、交通センサスの意向が変わることだと思う。それによって道路計画をすすめる根拠がなくなり計画変更になりうるのでは」とのお話がありました。里吉議員（共産）から「先の都議選の結果、都議会の力関係が変わり、野党会派が大きな勢力になり、住民の声を届ける展望が広がっている」と話されました。立憲民主の国会議員秘書及び都議からも「都の計画は全く無理、見直しが必要だ」と力強い激励を頂きました。今後さらに共同を広げていきたいと思っています。

# 2021年12月17日東京都建設局のヒヤリング議事録要旨

テーマ：都市計画道路補助52号線の「優先整備路線」の進捗状況について

出席者：都側 建設局道路建設部計画課 統括課長代理今泉浩氏 他1名

住民側 地権者・沿線住民8名

今泉課長代理：宮坂128号線から経堂で小田急と交差する船橋までの52号線優先整備区間2300mは、今、具体的作業はまだ進んでおりません。測量時期も未定。今後またお問い合わせがあれば、お答えしていきます。

Q：事業を進める最初の予算はついているのか。

今泉：ついていない。地形や地質などの現地調査も行っていない。

Q：東京の「優先整備路線」全体で具体的作業に着手しているのはどのくらいか。どの路線が予算ついて、調査など始めている路線はいくつあるのか。

今泉：(都だけでやっているのではなく)区、市、町にまたがるので…。今、数字は言えない。

Q：2016年第四次事業化計画発表では都施行139、区施行92、市町施行72、その他17合計320路線。(52号と交差する)133号線もまだか。

今泉：データ持ち合わせてないので答えられない。(133号)甲州街道(杉並区)に向かつてまだ何も行ってない。

Q：(52号と交差する)154号線は優先整備路線ではないが、北側の梅ヶ丘駅、松原方面はどうなりますか

今泉：手をつけていない。

Q：128号線は桜木中をトンネルぬけ開通したが、その先の52号線との交差に繋げるのはいつか？

今泉：世田谷通りにつながっただけだ。その先(52号線の交差)はまだ。

Q：船橋の215号線の進める予定は、千歳通りの農大方面に向かう路線は？

今泉：優先整備路線に入っていないから、何も行ってない。

Q：(52号線の)優先整備路線選定後5年間経過、この間にどの様なことをなさって来たのか。

今泉：5年間に設計とか、地形・地質調査も実施していない。現地に行って状況の確認はしたが今は事業中区間の道路設計の検討を実施しており優先整備区間は手がつけられない。用地取得状況等を確認しながら…133号線をどうつなげられるのか、あそこは高低差があって、学校もあり、難しい路線だ。

Q：経堂地域の課題、農大通り分断のデメリットを検討してほしい。交差する南北路線の133号は、京王線高架化を目的にやるという理解でよいか。

今泉：必ずしも、完全に連携してやるというものではない。併せてやれば効果的だが、桜上水駅の移転をしなければならぬ。車庫線(留置線)が長く、幅を取るし…いろいろな問題がある。

Q：52号線の優先整備路線選定から5年たったが今後どのように「検討」していくのか。

今泉：できれば測量に入らせていただいて事業認可取りたい。だが、何時というのは決めていない。

Q：(何もやっていないという)優先整備区間の住民は毎日(立ち退かされる)不安に苦しみながら暮らしている。「検討」とは道路構造だけの話ではないでしょう。住民の生活、コミュニティ、環境…等々含むべきだ。パブリックコメントなどいくら出しても、住民の声などまったく反映しようとしていない。決まったものは決まったもの、として「優先整備」の10年間、(ていねいに説明してまいりますと言っているだけで)になにも説明もしないでいいのか。

今泉：(現状の道路で)車はどう抜け道に抜けているのか、事故はどこで起きているのか、の調査はしている。



Q : (私は事業中区間の近くだが)世田谷線 との交差部の検討は進めているのか。

今泉 : 踏み切り改造の検討の時期について何時かは言えない。

Q : 設計もしていないのか。

今泉 : いや、している。

Q : まだ都・区・鉄道・警察の四者協議もしていないじゃないか。事業中区間の設計図について情報開示は出来るのか(踏切り、盛り土等)。 もう一つ、船橋の「街づくり計画」において通過交通 (大型道路建設) 認めないという、区と住民の合意 (2001 年) について (優先整備選定時に) 検討されたのか。

今泉 : 船橋の「協定」については、ふまえられているかどうか、確認させてください。情報公開については、存在している成果出ているものは請求していただければ開示できる。

Q : (宮の坂の踏切りも)環 7 の若林踏み切りと同じようになるのか。信号で電車のほうを止めるのか。

今泉 : 具体的にはまだ決まっていない。

Q : 認可地域の盛土問題などの解決及び事業進捗状況はどうなっているか

Q : 作ってきた写真パネルで説明させてもらう。(沿線地図、死亡事故ゼロの狭い本町通り、歴史遺産・住民の菩提寺・福昌寺と有名人も絶賛する農大通りの経堂祭り、阿波踊り・サンバパレード、つぶされる二か所の児童公園は保育園の園庭・防災拠点、そして道路予定地上に次々と新築される高耐久住宅、アパート、マンション、・・・危険で交通不便どころか、歩行者優先の安全・安心・公共交通利便・環境良好の暮らしやすい町として人口がどんどんふえている。これをみなつぶさないと東京都はつぶれるというのか)

Q : 豪徳寺では早く工事進めてくれという声もある。あと 5 年で出来る見通しあるのか。

今泉 : まだ用地取得を進めている段階で・・・ 所管外なので、遅れている理由は申し上げられない。

Q : 最後に、一般論として「優先整備路線」選定は外れることがあるのか。最近荒川区、台東区にまたがる 92 号線が外れた。54 号線の下北沢駅前も その際、どういう検討される根拠・理由となるのは何か。

今泉 : 正直言ってわかりません。今の「優先整備区間」選定は、今後も再選定ありうる。 外れる、外れない理由は、一般論としても未定です。

Q : 過去に外れた例がある。52 号の成城 4 丁目 (550 区が計画廃止) など第二次・三次計画から第四次計画 (策定) に移る時に廃止が決められた。 その時の見直しは「道路ネットワーク」で繋がってないことが理由になっていたが。

今泉 : あったと承知している。

Q : (計画廃止になった) 成城地域の方は、52 号は成城 7 丁目までは来ない、と皆言っています。

今日のヒヤリングは終りにしたい。認可地域では日々、迫る用地買収の金網に不安な生活を送っている。 都はこうした住民の声を聞くことが、今、重要である。どうか行政の責任を果たして欲しい。

〈終り〉

なお、ヒヤリング議事録要旨は 都道 52 号線 (環境破壊) に反対する会がまとめました。